

中央大学創立125周年

記念サイトがオープン

2010年に創立125周年を迎える本学のニュースやイベント情報が満載の「中央大学創立125周年記念サイト」が、この度オープンしました。10月のプレサイトオープンでは、125周年の歴史と伝統をベースに、中央大学の過去・現在・未来をビジュアルで語るイメージビデオ、理事長と総長・学長から学員の皆さまへ向けたメッセージビデオ、ホームカミングデーレポートなどを盛り込んでいますが、12月からは、いよいよ創立125周年記念の具体的なニュースやイベント情報の発信がはじまります。今後も情報満載の本サイトにご期待ください。



中央大学創立125周年記念サイト <http://chuo125.jp>

編集室

法学部OBのジャーナリスト、門田隆将さんの講演「裁判員裁判が問いかけるもの」を聞いて、「正義」ということを改めて考えさせられました。

門田さんは講演で、「出世」に走り、「相場主義」「事なかれ主義」に陥っている官僚裁判官制度の悪弊を鋭く突き、一般国民が参加する裁判員制度の意義を説いています。その中で私には、法曹を目指す人に向けて、「本当に人間の気持の通った、法律の字面に流されない法律家になっていただきたい」と言ったことが印象に残りました。

門田さんの著書には、被害者や犯人、裁判官などに直接会って取材し得た具体的な事例がたくさん盛り込まれています。そこには嘘も隠し

もありません。ジャーナリストの端くれだった私には、事実を丹念に粘り強く探求する門田さんの取材姿勢には頭が下がる思いです。

その取材姿勢には、「正義」という信念が背筋にピンと一本通っているように見え、門田さんと「正義とは何か」と問いかけました。即座に、「家族愛です」という答えが返ってきました。

咄嗟に私は、戦時中の翼賛選挙に唯一「選挙無効」判決を下した吉田久大審判判事が、「正義とは、倒れているおばあさんがいれば、背負って病院に連れて行ってあげるようなことだ」と言ったのを思い起こしました。

門田さんの「正義」と、あの「気骨の判決」の大先輩、吉田判事とに通底するものを感じたのでした。

(編集長 伊藤博)

学生記者が取材・編集する大学広報誌

Hakumon

Chuo
ちゅうおう

2009

冬季号

2009年(平成21年)12月16日発行 No.214

発行 中央大学広報室

〒192-0393
東京都八王子市東中野742-1

〈編集担当〉

『Hakumonちゅうおう』編集室

☎042-674-2048

印刷 泰成印刷株式会社
〒130-0026
東京都墨田区両国3-1-12
☎03-3631-8141